

三菱地所株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
株式会社三菱地所設計
Medicha 株式会社

2020年度グッドデザイン賞 三菱地所グループ全体で10件受賞



- ・「ザ・パークハウス 神戸タワー」(三菱地所レジデンス)
- ・「丸の内15丁目プロジェクト」(三菱地所)
- ・「CLT PARK HARUMI」(三菱地所・三菱地所設計)
- ・「Medicha」(Medicha) など

～三菱地所グループ18年連続の受賞～

三菱地所グループの三菱地所株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、株式会社三菱地所設計、Medicha株式会社は、2020年度グッドデザイン賞において、分譲マンション「ザ・パークハウス 神戸タワー」、ラグビーを通じた新たなまちづくり「丸の内15丁目プロジェクト」、CLTの魅力を伝えるパビリオン「CLT PARK HARUMI」、メディテーションスタジオ「Medicha」など、合計10件を受賞しました。

<2020年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト一覧(全10件)>

- 【分譲マンション「ザ・パークハウス 神戸タワー」】
- 【分譲マンション「hitoto 広島 The Tower」】
- 【分譲マンション「グランドメゾン浄水ガーデンシティ フォレストゲート」】※共同事業
- 【太陽光でお湯を沸かすZEH-Mスキーム「ソレイユ」】
- 【住民・店舗主体の「街そだて」の仕組み
「一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント (B-Pam)」】※共同事業
- 【ラグビーを通じた新たなまちづくり「丸の内15丁目プロジェクト」】
- 【オフィスビル「CIRCLES ～人の輪ができる、まちと繋がるオフィス～」】
- 【CLTの魅力を伝えるパビリオン「CLT PARK HARUMI」】
- 【放送局「福島テレビ株式会社本社」】
- 【メディテーションスタジオ「Medicha (メディーチャ)」】

グッドデザイン賞は、三菱地所グループとして、1998年度に「クイーンズスクエア横浜」で初めて受賞。2003年度からは18年連続の受賞となります。三菱地所グループは、今後も「人を、想う力。街を、想う力。」というブランドスローガンのもと、まちづくりを通じて社会に貢献していきます。



ザ・パークハウス 神戸タワー



丸の内15丁目プロジェクト



CLT PARK HARUMI



Medicha (メディーチャ)

■受賞プロジェクトの紹介

<住宅事業グループ ～17年連続受賞～>

1. ザ・パークハウス 神戸タワー（三菱地所レジデンス）

社会経済が目まぐるしく変貌する昨今において、地域の文化とともに活かされる歴史的建築物の雄姿を留めることは難しい。本計画地にあった旧三菱銀行神戸支店も、神戸市が指定する景観形成重要建築物であったが、戦災や阪神大震災で受けた損傷は大きく、そのままの形で維持管理していくことは非常に困難だった。創建から約120年に渡り受け継がれてきた、古くから地域に親しまれた景観や歴史的、文化的価値が失われることを防ぐため、本物件では経済的合理性を担保しながら歴史的建築物を維持・活用する手法として、高層マンションの基壇部に従前建物の外壁部材をそのまま利用することを考えた。歴史的建築物を保存・復元しながら、都市景観や文化の継承と新生に寄与し、人の暮らしに新たな価値を生み出す場の創出を目指した。

（評価コメント）

歴史的な建築物の保存と不動産開発との関係は、これまで長い間価値観の解離があった。近年では、維持保存が困難になった歴史的建築物を、むしろ開発の価値として位置付ける手法も、商業施設・文化施設・オフィスなどでは徐々に増えつつある状況だが、大規模な集合住宅では、なかなか見られなかった。この計画は、集合住宅で歴史的建築物の再生を行うという、極めて稀な挑戦を行なったものであり、この後の良い先例となつてほしい。



●「ザ・パークハウス 神戸タワー」概要

所在地：兵庫県神戸市中央区相生町1丁目1番1（地番）

構造・規模：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上33階地下1階建

住戸面積：42.29㎡～155.03㎡

総戸数：352戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社、JR西日本不動産開発株式会社、
三菱倉庫株式会社、安田不動産株式会社

設計・監理：株式会社大林組 大阪本店一級建築士事務所

施工：株式会社大林組

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：2019年11月

2. hitoto 広島 The Tower（三菱地所レジデンス）

『知の拠点の再生』をテーマとした、広島大学本部跡地再開発計画の中核を成す超高層（53 階建）タワーマンション。高層化する事で生まれた敷地内の広大な空間を緑地帯や共用空間として居住者だけでなく地域にも開放し、周辺施設とともに、多世代が繋がり、交流する仕組みをデザインする事で、広島に新たなランドマークを創出した。

（評価コメント）

旧広島大学のキャンパスを、タワーマンションを核に住と職と文化の交錯する場所に変えていこうという再開発プロジェクトで、企画からタウンプランニングまで考えていこうとする事業のビジョンや枠組みが評価された。デザインとしては、被爆建物の広島大学の旧理学部 1 号館とタワーマンションが対比される環境のインパクトが大きく、知の拠点にふさわしい態度を感じる。旧大学のランドスケープのモチーフを一部用いているが、もっと積極的に環境の記憶を残しても面白かったかもしれない。タワーマンションによって得られた公園上の環境が今後街づくりの核になると思うが、その際にも旧 1 号館が残っている意味が大きい。場所の記憶が残ってこそ、新しい住環境が生きてくるので、今後タウンプランニングの中で旧 1 号館の保存活用アイデアが多数出てくることに期待したい。



●「hitoto 広島 The Tower」概要

所在地：広島県広島市中区東千田町 1 丁目 1 番 66（地番）

構造・規模：（タワー棟）鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造（基礎免震） 地上 53 階建・塔屋 1 階建
（コミュニティプラザ）鉄骨造 1 階建

住戸面積：55.04 m²～143.78 m²

総戸数：665 戸（他に管理室・ゲストルーム等）

事業主：三菱地所レジデンス株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社、
JR 西日本プロパティーズ株式会社、株式会社トータテ都市開発、広島電鉄株式会社

施工：前田建設工業株式会社

管理会社：三井不動産レジデンシャルサービス中国株式会社

竣工：2020 年 4 月

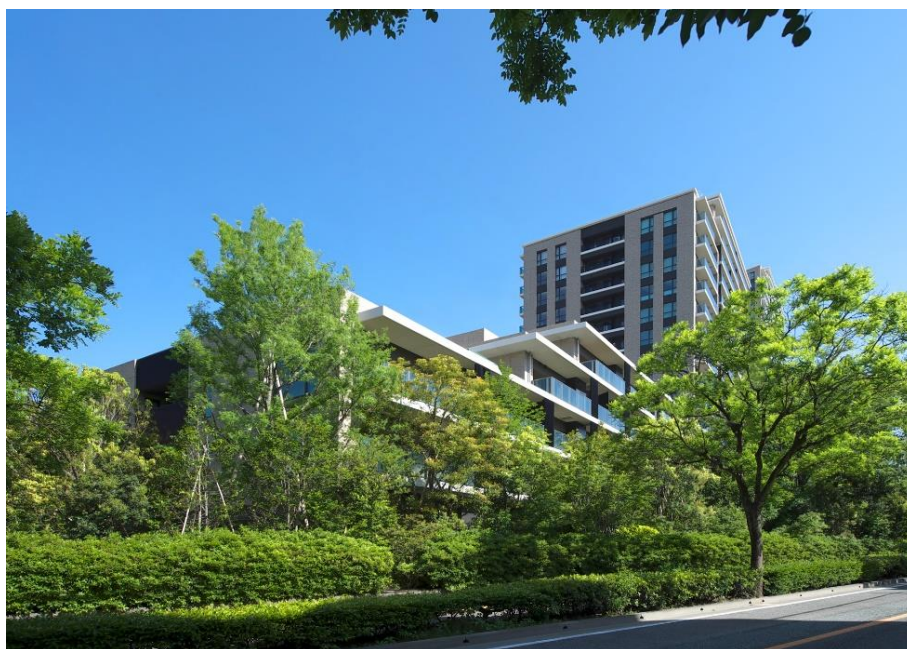
3. グランドメゾン浄水ガーデンシティ フォレストゲート

(積水ハウス、三菱地所レジデンス、福岡商事、西部ガス都市開発、清水建設、
フィールドフォー・デザインオフィス)

福岡市有数の高級住宅地である 3ha の敷地に約 10 年に及ぶまちづくりを行うプロジェクト。5 年を経て全体計画の半分が完成した。街区全体を都会の森と考え、邸宅感を表現できるような住環境を目指した住棟 3 棟・駐車場棟・施設棟、計 5 棟で構成された集合住宅群。地域のランドマークとなり緑と共生していく集合住宅となることを期待している。

(評価コメント)

近年、首都圏以外の地方都市でも、マンションは長期居住の選択肢として定着しつつある。大規模な集合住宅は、街並みに大きな影響を与えるが、とくに地方都市にあっては、その影響は無視しえないものである。グランドメゾン浄水ガーデンシティ フォレストゲートは、敷地に対して対角線上に住棟を配することで、通りに対して十分な緑を提供しており、大規模なマンションと都市の共存の在り方として、一つの普遍的な回答を示している。外観のデザインも、軒の水平線が強調される抑制のきいたデザインによって、全体のボリューム感が抑えられ、好感が持てる。



●「グランドメゾン浄水ガーデンシティ フォレストゲート」概要

所在地：福岡県福岡市中央区薬院 4 丁目 341 番他（地番）

構造・規模：（住宅棟）RC 造 地上 5 階建、17 階建、21 階建 （施設棟）+S 造 地上 1 階建

住戸面積：53.21 m²～193.08 m²

総戸数：分譲マンション 3 棟（住戸数 29 戸・127 戸・158 戸）+店舗・事務所

事業主：積水ハウス株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、福岡商事株式会社、
西部ガス都市開発株式会社

施工：清水建設株式会社

管理会社：積和管理九州株式会社

竣工：2017 年 1 月・2018 年 1 月・2019 年 1 月

4. 太陽光でお湯を沸かす ZEH-M スキーム「ソレイユ」(三菱地所レジデンス)

戸建のエネルギー消費を減らす ZEH が普及する一方、マンションでは住戸毎に太陽光パネルと蓄電池を設置する一般的な手法を用いると、コスト負担・スペース確保の点から ZEH 導入は困難だった。本スキームでは太陽光発電を一括で運用し、太陽光エネルギーを各住戸の給湯機でお湯に変換することで蓄電池の代わりとする新たな仕組みを構築した。ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラにおいて創エネを含む ZEH-M Ready の導入が実現し、大規模(528 戸)低層(4 階建)マンションでは日本初の事例となった。

(評価コメント)

省エネルギー、創エネルギーという課題は、本来、戸建て住宅よりもスケールメリットのある集合住宅における方が取り組みやすいはずである。しかし、太陽光発電を導入する場合、従来 1 住戸 1 受電方式の契約しかなく、太陽光発電を建物全体で運用する新しい仕組みには対応できなかったというのは、大きな足かせとなっていたはずだ。まずはこうした制度の見直しが必要であるという重要な提言となっているのが本プロジェクトである。太陽光発電による電力をお湯に変えて蓄エネルギーをし、その仕組みをマンション一棟で管理する、できそうでできなかった取り組みであり、業種を超えた協業によってなされたプロジェクトとして高く評価できる。



ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ 全体完成予想 CG

●「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」概要

所在地：千葉県浦安市高洲 6 丁目 14 番 1 (地番)

構造・規模：設定敷地①〔テラスプラザ〕：鉄筋コンクリート造 地上 4 階建、設定敷地②〔ベイプラザ〕：鉄筋コンクリート造 地上 4 階建、設定敷地③④〔サニープラザ〕：鉄筋コンクリート造 地上 4 階建、設定敷地⑤〔カームプラザ〕：鉄筋コンクリート造 地上 4 階建、設定敷地⑥〔ヴィラハウス〕：木造 1 階建、設定敷地⑦〔アネックスハウス (パーティールーム・ゲストルーム・ジム施設棟)〕：鉄骨造 地上 2 階建

住戸面積：74.84 m²～147.76 m²

総戸数：528 戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社、近鉄不動産株式会社

施工：株式会社長谷工コーポレーション

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：1 工区：2021 年 11 月上旬予定／2 工区：2022 年 9 月上旬予定

5. 住民・店舗主体の「街そだて」の仕組み「一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント（B-Pam）」
（幕張ベイパークエリアマネジメント、三井不動産レジデンシャル、野村不動産、
三菱地所レジデンス、伊藤忠都市開発、東方地所、富士見地所、袖ヶ浦興業）

街が付加価値を醸成し継続的に発展していくためには「街そだて」の担い手が不可欠となる。昨今自治会や商店会において担い手不足や資金力不足、対立等の問題が生じている社会的背景を踏まえ、既存自治会等が無いゼロからの街づくりである幕張ベイパークならではの新しい「街そだて」の仕組みとして一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント（B-Pam）を立ち上げた。継続・自立的活動のための収益事業の設定や、千葉市のみなし自治会制度を活かし自治会機能と商店会機能を内包した組織にすることで、担い手の効率化を図ると共に自治会×商店会連携による新たな価値創造を図った。また、組織の活動の「場」としてコミュニティ拠点や街ポータルを組織設立と同時期に立ち上げ活動の更なる活性化を目指した。街びらき前からコミュニティ活動をスタートさせ協力者・担い手を募っていたことで、住民・店舗入居後速やかに主体的な活動をスタートさせられた。

（評価コメント）

コミュニティの形成を考えると課題となるのが、参加者の善意に委ねるだけでなく、いかに持続可能な仕組みをデザインするかだと思う。幕張ベイパークエリアマネジメントでは自治会・商店会などの機能を統合することにより、コミュニケーションを円滑なものとした。またマンション管理組合向けのサービスを提供することで収益事業を内包し、立ち上げ時の関係者が離れてしまっても自立するようにあらかじめ担い手を募集することで、持続可能な組織も目指している。多くのコミュニティビルディングで直面する課題に真正面から取り組んだことを評価した。



6. ラグビーを通じた新たなまちづくり「丸の内15丁目プロジェクト」(三菱地所)

ラグビーワールドカップ 2019TM 日本大会（以降、RWC）のオフィシャルスポンサー契約を締結した三菱地所による、幅広い人々のラグビーへの興味を喚起し、RWC を国民的なイベントとして盛り上げるための、丸の内の街を舞台に、まるで街づくりのように、ラグビーに無関心な人が、様々なラグビーの魅力を発見できるような活動。丸の内をラグビー色に染め、数々の熱狂を生んだ。

(評価コメント)

2019年のラグビーワールドカップで、ルールはよくわからないけれどもその面白さに感じ入り、「にわかファン」となった人は多い。そのにわかファンのみんなをどうやって本当のファンにしていくか。そのラグビーから汗臭い文脈を取り外し、食、ビジネス、映像コンテンツ、アート、エクササイズなどとかけあわせて、丸の内全体をラグビーの街にしてしまう、というアプローチはユニークであり、これからのブランディング手法として高く評価したい。

ラグビーは、迫力だけじゃない緻密な頭脳戦、国籍を超えた多様性、紳士たるフェアプレー、鍛え抜かれた人間性。「好き」になれる入り口は、いくつもある。ここは、そんなラグビーの新たな魅力に出会える場所。ラグビーを通じて、みんながリアルに、バーチャルに、ひとつになれる街。ラグビーが好きな人も。今はまだそうでない人も。すべてのあなたといっしょに。この街から。



大会期間中のパブリックビューイング（丸ビル）



ラグビーとビジネスをかけたトークイベント



ラグビーボール等をテーマにしたアートイベント



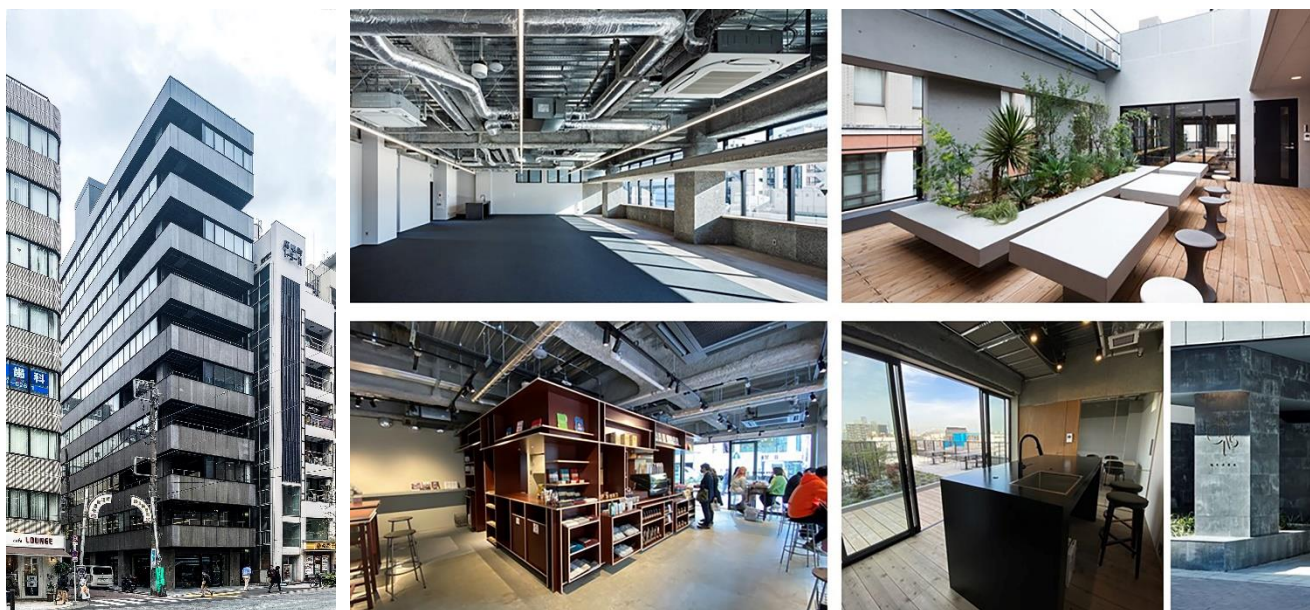
丸の内ラグビー神社とビックボールオブジェ

7. オフィスビル「CIRCLES ～人の輪ができる、まちと繋がるオフィス～」(三菱地所)

「CIRCLES」は事業拡大を目指す成長企業やプロジェクトスペース等の分室ニーズを持つ大企業にとって、ワンフロア専有可能なセキュリティ性と、シェアオフィスやサービスオフィス等が持つデザイン性、交流・創造を促す共用空間を兼ね備えた、これまでの中小規模オフィスとは違う新しい形のオフィスビルシリーズである。

(評価コメント)

近年、オフィスの形態は様々になってきており、特に最近ではコロナの影響もありリモートワークという働き方も増え、集まって働く意味がより問われている。シェアオフィスのようなカジュアルでフレンドリーな雰囲気をフロア貸しのオフィスであっても実現できるのではないかという試みは中小企業の新しい需要にフィットしていると思う。サードプレイスとしての1階カフェと屋上、そして各フロアのインナーバルコニーなどコミュニケーションを誘発する仕掛けが用意され、集まって働くことの楽しさを感じさせてくれる。



●「CIRCLES 日本橋馬喰町」概要

所在地：東京都中央区日本橋馬喰町一丁目5番12号

構造・規模：鉄骨造 地上11階建

敷地面積：272.63 m²

延床面積：1,992.90 m²

用途：事務所・店舗

事業主：三菱地所株式会社

設計・監理：大豊建設株式会社

施工：大豊建設株式会社

竣工：2019年12月

8. CLT の魅力を伝えるパビリオン「CLT PARK HARUMI」(三菱地所・三菱地所設計)

国産 CLT を国内外にアピールすることを主目的とした施設。CLT の魅力が一般の方へ伝わるよう、菱形 CLT パネルが空中へ浮遊するようなパビリオン棟や、軒や階段にラミナ積層ディテールを施した展示棟をデザイン。東京都晴海で 1 年間使用後、岡山県真庭市に移築し恒久的に活用する。木造ならではの持続可能性を追求したプロジェクトである。

(評価コメント)

菱形の CLT 材を、短い鉄骨の束間にそれらを斜めに持ち送る様に配することで、新しい木と鉄骨のハイブリッド架構を実現したプロジェクトである。持ち送りの方向は梁行一方向ではなく、階層ごとに 90 度回転し桁行にもつながっていく。その揃って方向を変えていく様は、なにか最近のチームダンスを見る様でもある。この持ち送りの架構形式は伝統的な「料枳(ときょう)」にもつながりながら、全く新しく現代的な印象だ。そのような空間・構造的価値に加えて、このパビリオンは解体・再建が可能な「仮設システム」として実現されているのも興味深い。一度作ってしまったら固まってしまう動くことができなくなる湿式のコンクリート造とは異なった、木造という乾式の構法が、この仮設性を可能にしている。空間、構造、仮設工法など、木の特質を生かした新しい木造形式として高く評価した。



●「CLT PARK HARUMI」概要

所在地：東京都中央区晴海 3 丁目 2 番 15 号

構造・規模：木 (CLT) 造、鉄骨造

(パビリオン棟) 地上 1 階建、(屋内展示棟) 地上 2 階建、(展示別棟) 地上 1 階建

敷地面積：3,368.88 m²

事業主：三菱地所株式会社

設計監理：株式会社三菱地所設計

デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所

施工：三菱地所ホーム株式会社

竣工：2019 年 11 月 (2020 年 10 月解体工事開始)

9. 放送局「福島テレビ株式会社本社」(三菱地所設計)

地域に根差す放送局の本社建替えである。同じ敷地にあった旧社屋は、震災により甚大な被害を受けた。新社屋は、放送機能を守る外壁と必要最小限の窓の積層による機能美として表現し、通り抜けできるエントランスや地域に開放される広場により、いかなる時も地域に根差し放送を継続できる堅牢性と親しみやすさを兼ね備えたデザインとした。

(評価コメント)

福島の復興における象徴は多数あると思うが、放送局としての重要な役割などを経て、まさに街の真ん中に穏やかなシンボルとして成立した。単なるモニュメントではなく、建築だからこそ可能となる機能やボリュームを存分に発揮し、堅牢さ親しみやすさ解放される広場、などを言葉以上に実現させていると感じる。



●「福島テレビ株式会社本社」概要

所在地：福島県福島市御山町2番5号

構造・規模：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階 塔屋1階

敷地面積：6,716.34 m²

延床面積：6,218.33 m²

事業主：福島テレビ株式会社

設計：株式会社三菱地所設計

施工：株式会社竹中工務店

竣工：2020年4月

10. メディテーションスタジオ「Medicha」(メディーチャ)

近年のキャリア観や働き方が多様化する中で、従来型の何かを犠牲にし、何かに打ち込まざるを得ない価値観が根強いと感じていた。世界ではもっと肩の力を抜き自然体で挑戦をしている層が多く、そんなライフスタイルを日本でも創りたいという思いからスタジオを企画した。国内では心療内科やカウンセリングなど、手に取るにはハードルが高いものが多いが、海外で活躍されている方はセルフ・コンディショニングと言われるようなメンタル領域のケアを生活の中へ当たり前に取り入れており、その手段としてメディテーションを行っている方が多く存在する。海外市場では欧米を中心にスタジオやアプリが展開され、その多くは宗教的な要素を排除した心理学・神経科学的論拠に基づいている。Medicha を生活の一部に取り入れることで、多くの方がご自身の感性に沿い、毎日の行動を丁寧に選択が出来るライフスタイルの実現を目指す。

(評価コメント)

多様な突出したアーティストとのコラボレーションをへて開発された照明、音響設計、アートインスタレーション、そして、空間デザインを高次元で掛け合わせることで、通常の店舗区画のような狭隘空間を変革し、従前ではない没入型のメディテーション体験の提供を可能としたことを高く評価する。また、ユーザー自らが入って完成させるという余白を残した体験の追求がさらにこの世界への没入へと導くデザインとなっていてよく考えられている。これからのヘルスケアのあり方に一石を投じる新たな日常に不可欠なものへと発展していくことを強く期待する。



●「Medicha 株式会社」概要

会 社 名：Medicha 株式会社（読み方；メディーチャ/ 英語表記；Medicha Co., Ltd.）

所 在 地：東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号

設 立 日：2019 年 4 月 1 日

資 本 金：資本金 1 億円

主 要 株 主：三菱地所（100%子会社）

事 業 内 容：メディテーションおよびリラクゼーション関連スタジオの企画開発・運営など

戦艦店所在地：東京都港区南青山 5-3-18 BLUE CINQ POINT（ブルーサンクポイント）C 棟 B1

（東京メトロ銀座線・千代田線「表参道駅」徒歩 3 分）

開 業：2019 年 6 月 1 日

U R L：<https://medicha-jp.com/>

<参考>

●三菱地所グループ グッドデザイン賞受賞実績

1998 年度	「クイーンズスクエア横浜」
2000 年度	「丸の内仲通り」
2001 年度	「国立室戸少年自然の家海望台」
2003 年度	「丸の内ビルディング」
2004 年度	「M.M.TOWERS」「日本テレビタワー」「品川セントラルガーデン」
2005 年度	「ザ・フィネスト上野毛パークハウス」「洗足池スタイルハウス」「フォレスト南平台」 「ザ・ハウス南麻布」
2006 年度	「井の頭公園パークハウス吉祥寺南町」「追手門学院大学守衛所」 「明治安田生命ビル街区再開発」
2007 年度	「セントラルガーデン・レジデンス」「ザ・ステージオ（共同事業）」 「読売北海道ビル」「オンワード仙台支店」「国際文化会館」 「横浜ベイクォーター」「新丸ビル」
2008 年度	「M.M.TOWERS FORESIS」「CAPITAL MARK TOWER（共同事業）」 「成蹊大学情報図書館」
2009 年度	「本郷パークハウス ザ・プレミアフォート」「The Kitahama」
2010 年度	「パークハウス フォレストリエ」「パークハウス 木々 津田沼前原」 「パークハウス瀬田一丁目」「スタイルハウス目黒緑が丘」 「ミッドオアシスタワーズ」「パークハビオ駒沢大学」「soleco（ソレッコ）」
2011 年度	「パークハウス吉祥寺 OIKOS」「パークハウス江ノ島」「豊洲フロント」 「大鉄工業本社ビル」「成蹊学園キャンパス」
2012 年度	「ザ・パークハウス 茅ヶ崎東海岸南」「ザ・パークハウス 六番町」 「5つのアイズ」「スマイラボ」「八事山興正寺 境内整備計画Ⅰ」
2013 年度	「ザ・パークハウス 池田山」「東洋文庫」「熊谷商工信用組合本店」
2014 年度	「丸の内仲通り」「MARK IS みなとみらい」「『はらくつつい東北』シリーズ」 「ザ・パークハウス 代官山レジデンス」「ザ・パークハウス 渋谷美竹」 「ザ・パークハウス 戸塚」「ドレッセ世田谷桜レジデンス（共同事業）」 「スーパータックフィット MNT（共同事業）」 「全館空調エアロテックのダクトレイアウトシステム」「制震賃貸住宅エムアセット」
2015 年度	「ザ・パークハウス グラン 千鳥ヶ淵」ベスト 100 受賞 「マンションのランニングコストの見える化『マンション家計簿』」ベスト 100 受賞（グッドデザイン・未来づくりデザイン賞受賞） 「築古ビルのバリューアップ転貸事業『Re ビル』」ベスト 100 受賞 「ザ・パークハウス グラン 三番町」「ザ・パークハウス 上鷺宮」 「ザ・パークハウス 追浜」「SKYZ TOWER&GARDEN（共同事業）」 「パークハビオ赤坂タワー」「西新宿 CLASS in the forest」「プレーン・ルームズ」 「そなえるカルタ」「BIO NET INITIATIVE」「脇浜寮」
2016 年度	「ザ・パークハウス 晴海タワーズ」「賃貸物件の無人内覧サービス」 「遊休資産となった社宅再生転貸事業」「新築分譲マンションのための研究開発手法」 「渋谷董友ビル」「本社ビル+企業ミュージアム『安川電機みらい館』」 「『オーダーグラン』駒沢ステージ2 ホームギャラリー」
2017 年度	「ザ・パークハウス グラン 南青山」「ザ・パークハウス 市谷甲良町」 「ザ・パークハウス 東陽町レジデンス」「プレイスヴィラ喜多見」 「BAYZ TOWER&GARDEN」「集合住宅向け PC 工法のシリーズ化」 「空気の価値化『新マンションエアロテック』」「住まいの中に、木の小部屋『箱の間』」 「大手町フィナンシャルシティ グランキューブ」「星のや東京」

- 2018 年度 「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」「蘆花公園 ザ・レジデンス」
「ザ・パークハウス 中之島タワー」「ザ・パークハウス 新宿御苑」
『そなえるドリル』ドナタデモプロジェクト」
『各住戸玄関前宅配ボックス』を利用した集合住宅における新しい宅配システム」
「グリーン付家具『ボタニカルファニチャー』」「ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー」
「木造住宅最高レベルの高遮音床」「旧名古屋銀行本店ビル(THE CONDER HOUSE)」
「グランモール公園再整備」「横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル」
「X-PRESS 有楽町」
- 2019 年度 「ザ・パークハウス 五番町」「ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン」
「ザ・パークハウス あざみ野一丁目」
「Under construction (Un.C./アंक)」
「幕張ベイパーク クロスタワー&レジデンス」
「連続両面大開口と国産 100%CLT スラブによる深い軒下空間を有する千里・新宿モデルハウス」
「KOJIMACHI TERRACE」
「ヒューリックスクエア東京」
- 2020 年度 「ザ・パークハウス 神戸タワー」「hitoto 広島 The Tower」
「グランドメゾン浄水ガーデンシティ フォレストゲート」
「太陽光でお湯を沸かす ZEH-M スキーム『ソレイユ』」
「一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント (B-Pam)」
「丸の内 15 丁目プロジェクト」
「CIRCLES ～人の輪ができる、まちと繋がるオフィス～」
「CLT PARK HARUMI」「福島テレビ株式会社本社」「Medicha (メディーチャ)」

以 上